

キラッと輝く合志人



世界の舞台

スペシャルオリンピックスへの挑戦

こじま たくや
児島 琢也さん (榎ノ本)

明るい笑顔で、大会のたび各国に仲間をつくっています

①全国大会優勝時の金メダル ②試合ではチームワークを発揮
 ③「ばれつと」の皆さんとスペシャルオリンピックス日本・熊本事務局の皆さん

スペシャルオリンピックスは知的障がいのある人たちがさまざまなスポーツで活躍する場だ。ことしは3月14日から21日にかけて、アラブ首長国連邦で2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会が開催される。児島さんはこの大会にバレーボールの日本代表として出場する。「今大会の目標は1つでも多くボールを拾い、金メダルを取ることです」。世界大会に向けて、仕事の合間に練習や合宿に励む。「でも、最初は迷いがあったんです」。昨年9月に愛知県で行なわれた全国大会で見事優勝したあと、日本代表に選ばれたときの気持ちを児島さんは振り返る。「大会に出るとなるとしばらく仕事を休むことになるので、職場に迷惑を掛けてしまうと思いました」

児島さんは普段障害福祉サービス多機能型事業所(A型)「ばれつと」で仕事をしている。「ばれつと」の人たちは迷う児島さんの背中を「誇りを持って大会に行ってきたほしい」と優しく押した。「職場の理解がなければ出場できないので、とてもありがたい。職場だけでなく、周囲の人からも「世界大会に出られない人の分も頑張って」と言われ、迷いがなくなりました」

児島さんが世界大会に出場するのは3回目。平成21年にアメリカ合衆国で行なわれた大会ではフロアホッケー(床の上で行なうホッケー)の選手として出場し、優勝した経験もある。そんな経験を積んだからこそこの夢もある。「3大会の経験を生かして、他のどこにもいないコーチになりたいです。新しいアスリートをどんどん育ててスペシャルオリンピックスをもっと広めたいと思っています」。

大会では勝負だけでなく、世界中の人との交流も大切にしていく児島さん。「日本に戻ったら、応援してくれる皆さんに成果や大会をとおして得たものをしっかりと報告したいです」

周囲の温かい応援とスペシャルオリンピックスの未来を背負い、世界の舞台に挑戦する。



あなたの周りの**合志人**を探しています
 企画課 企画広報班 (合志庁舎) ☎248-1813

あなたの周りにいるキラッと輝く合志人を紹介してください。たくさんの紹介をお待ちしています。

和顔愛語



だんだんと「今日は暖かいな」と思う日も増え、春が近づいているのを感じます。睡眠欲がさらに増していくのが悩みです。

P8で紹介しましたが、市内を走るコミュニティバスに新しく東西線という路線が加わり、市内の移動がより便利になりました。この春はぜひコミュニティバスを利用して、市内でバス旅はいかがですか。

例えばお花見。バス移動ならお弁当と一緒に泡立つ黄金色の飲み物も楽しめますね。定番の桜スポットはもちろんですが、バス旅がてら自分だけの穴場スポットを探してみるのも楽しいかもしれません。

小山

梅から桃、そして桜へと咲き変わる日本の春。生命の息吹をはっきり感じ始めるこの時期、心は自然にウキウキしてきます。別れと出会いの季節でもあります。人生の節目を迎えた人も多いことでしょう。一生に一度の思い出を、美しい景色と共に心の宝箱へ！ 皆さんが素敵な春を楽しめますように。

高野

人の動き

人口……62,265 (+ 50)
 世帯……24,416 (+ 32)

出生…56 (+10) 転入…193 (-17)
 死亡…52 (+14) 転出…147 (-15)

※1月末現在 ()内は前月比

